ポリエチレンカッタ　取扱説明書

■はじめに

ポリエチレンカッタをご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、十分理解した上で、正しくお使い下さい。

カッタ品名	カッタ品番
ポリエチレンカッタ １００	ＰＥ－１００
ポリエチレンカッタ １５０	ＰＥ－１５０
ポリエチレンカッタ ２００	ＰＥ－２００
ポリエチレンカッタ Ｉ-１００	ＰＥＩ－１００
ポリエチレンカッタ Ｉ-１５０	ＰＥＩ－１５０

この取扱説明書は、ポリエチレンカッタを安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害と財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項が記載されております。お読みになった後は、ポリエチレンカッタ（以後、カッタ）をご使用される方が、いつでもお読みになれるように、保管しておいて下さい。

わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので内容をよく理解してからお読み下さい。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しております。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも、安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守り下さい。

■使用目的

ポリエチレン管　の切断用工具。

■使用対象管

◆カッタ品番：ＰＥ－１００、１５０、２００

ガス用ポリエチレン管(JIS K 6774)、他ＪＩＳ規格のポリエチレン管、ポリブテン管(JIS K 6778)

◆カッタ品番：ＰＥＩ－１００、ＰＥＩ－１５０

水道配水用ポリエチレン管(JWWA K144(ISO)、PWA(JIS))、排水用ポリエチレン管(ISO)、ガス用ポリエチレン管(JIS K 6774)

カッタ品名	カッタ品番	呼び径	外径基準寸法	厚み
ポリエチレンカッタ １００	ＰＥ－１００	40 ～ 100	48mm ～ 114mm	12mm以下
ポリエチレンカッタ １５０	ＰＥ－１５０	75 ～ 150	89mm ～ 165mm	17mm以下
ポリエチレンカッタ ２００	ＰＥ－２００	150 ～ 200	165mm ～ 216mm	19mm以下
ポリエチレンカッタ Ｉ-１００	ＰＥＩ－１００	30 ～ 100	42mm ～ 125mm	17mm以下
ポリエチレンカッタ Ｉ-１５０	ＰＥＩ－１５０	75 ～ 150	89mm ～ 180mm	19mm以下

※本商品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■安全上のご注意

⚠ 警 告

①このカッタの刃(以後カッタホイール)は大変鋭利になっています。けがをする恐れがありますので、直接、手指で触れないように注意して下さい。切断作業時および、カッタホイール交換時には必ず保護手袋を着用して下さい。

②切断作業の際には安全靴を着用して下さい。切断終了時に管と工具が一体で落下した場合、大きな災害につながることがありますので、管下部を支えるなどの措置をとって下さい。

③この工具には、カッタホイールの早戻り機構が付いています。この機構は、条件により非常に強い力で戻ることがあり、手指を挟んでけがをする恐れがありますので、早戻しをする際にはカッタの戻る位置に手指を近づけないで下さい。

⚠ 注 意

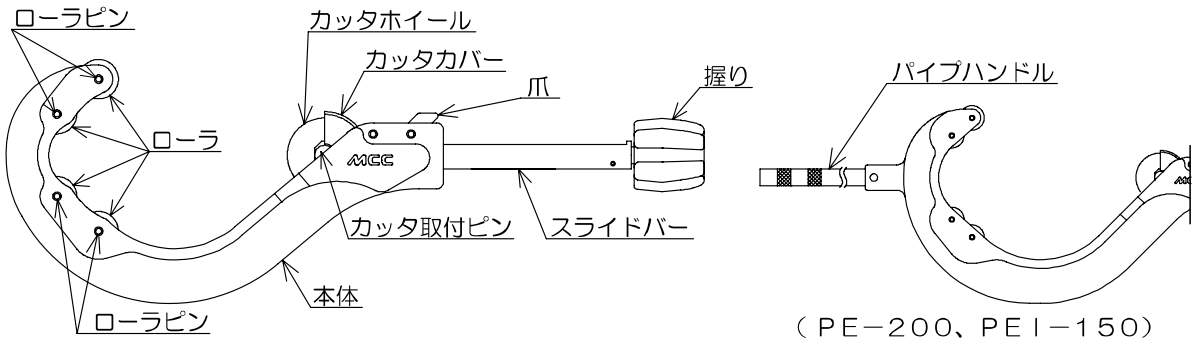
①カッタを落下させないで下さい。破損又は機能に支障が発生する恐れがあります。

②この取扱説明書に記載された使用目的、仕様の範囲でご使用下さい。カッタを改造したり、仕様を逸脱することはしないで下さい。カッタの故障原因となるばかりか、事故を誘発する恐れがあります。

③カッタ及び管に付着している土･砂や異物は取り除いてから使用して下さい。カッタ及び管に土･砂や異物が付着したまま切断作業をするとカッタホイールが破損したり、切断面が変形する原因となります。

④カッタの各部は常に注油・点検を行い、損傷のある状態では使用しないで下さい。

■各部の名称



（ＰＥ－２００、ＰＥＩ－１５０）

■作業の前に（日常の点検・メンテナンス）

①カッタ各部に異物の付着がないか点検し、異物が付着していれば取り除いて下さい。
②カッタのローラ部など可動部分へ注油して下さい。動きをスムーズにし、摩擦を抑える効果があります。
③カッタのローラ部など可動部分がスムーズに動くか、破損していないか、ローラピン・カッタ取付ピンの脱落はないかなどを点検し、異常があれば修理をご依頼下さい。
④カッタホイールを点検し、欠けがあればカッタホイールを交換して下さい。

■操作方法

（１）操作手順
①管に付着している土や汚れなどを取り除いて下さい。
②「爪」を押して「カッタホイール」を管の外径より開いて下さい。（図１）
③カッタのローラ部を管にあてがって下さい。（図２）
④「握り」を 右回し して「カッタホイール」が管に少し喰込むまで送り込んで下さい。（図３）

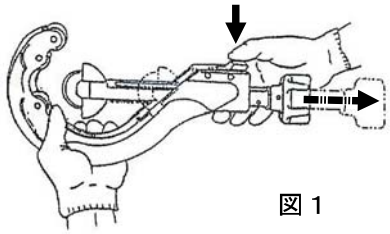


図１

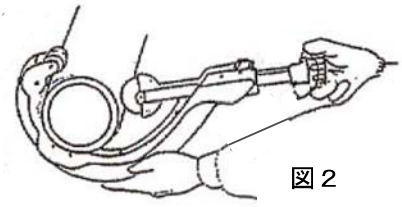


図２

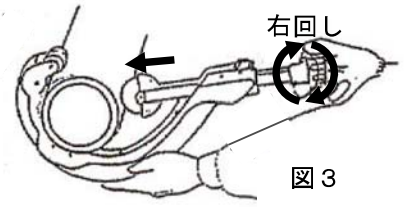


図３

⑤カッタを前後に２～３回往復し、ローラ部と「カッタホイール」を管になじませて下さい。（図４）
・注：カッタの「ローラ」２個が確実に管に接していないと、真直ぐに切断できない場合があります。
⑥カッタを矢印の方向に回しながら、「握り」を 右回し して徐々に切り込み切断して下さい。（図５）
・注：切込みを一度に深くしすぎると、切断荷重が大きくなり「カッタホイール」が破損する場合があります。
・注：「スライドバー」を最大に送り込んだ状態にある場合、「爪」が機能しないことがあります。「握り」を 左に少し回すと機能するようになります。

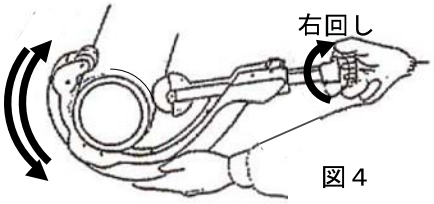


図４

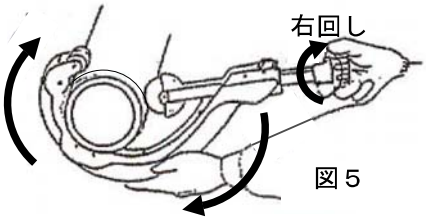


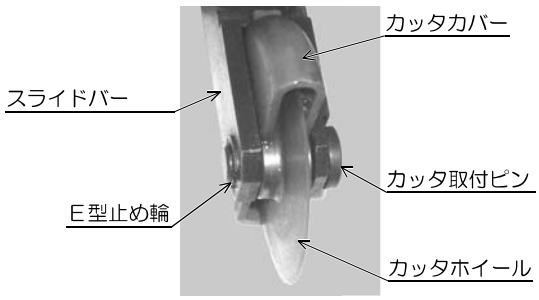
図５

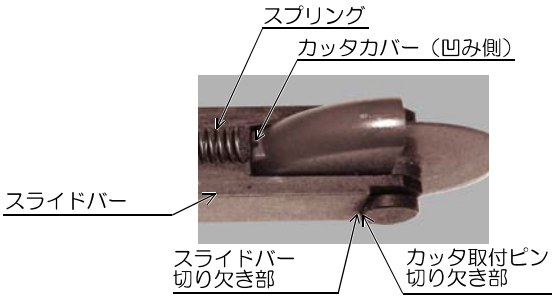
■替刃（カッタホイール）

替刃をお買い求めの時は、カッタに対応する替刃品番をご指定下さい。

カッタ品名	カッタ品番	替刃品番
ポリエチレンカッタ １００	ＰＥ－１００	ＰＥＥ１００
ポリエチレンカッタ １５０	ＰＥ－１５０	ＰＥＥ１５０
ポリエチレンカッタ ２００	ＰＥ－２００	ＰＥＥ２００
ポリエチレンカッタ Ｉ-１００	ＰＥＩ－１００	ＰＥＥ１５０
ポリエチレンカッタ Ｉ-１５０	ＰＥＩ－１５０	ＰＥＥ２００

◆交換手順
①マイナスドライバなどで「Ｅ形止め輪」を取り外して下さい。
②「カッタ取付ピン」を抜き取り、古い「カッタホイール」と「カッタカバー」を取り外して下さい。
④新しい「カッタホイール」を逆の手順で取り付けて下さい。
・注：「カッタカバー」の凹み側を「スライドバー」の「スプリング」側に取り付けて下さい。
・注：「カッタ取付ピン」の切り欠き部と「スライドバー」の切り欠き部を合わせて下さい。





株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所
☎(059)234-2454
http://www.mcccorp.co.jp